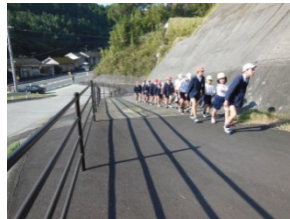


平成29年度内閣府 地震・津波防災訓練 【鹿児島県志布志市】

実施報告書
(概要版)



鹿児島県志布志市について

志布志市は、平成18年に曾於郡志布志町、松山町、有明町の3町が合併して発足しました。鹿児島県の東部、大隅半島の付け根の部分に位置し、広大な農地と温暖な気候を活かした第一次産業が盛んな地域で、特にうなぎは、日本有数の生産量を誇ります。

北東は宮崎県と接し、南側は志布志湾に面し、国の中核国際港湾である志布志港から国内外へ複数の航路が設けられ、南九州地域での重要な役割を担っています。人口は31,989人（平成29年10月31日現在）、面積は141.61平方キロメートルです。



地図出典：国土地理院

訓練概要

- 訓練想定：11月1日（水）午前9時、四国沖を震源とするM9.1の地震が発生し、志布志市では震度6弱を観測、志布志湾沿岸部では、36分後に最大津波高約7mの津波到達が予想される。
志布志市は、地震発生後ただちに住民に対し、防災行政無線等により、津波からの避難を呼びかけるとともに、現地災害対策本部を設置した。
- 実施日時：平成29年11月1日（水）09：00～12：00
 - シェイクアウト訓練 09：00～09：02
 - 津波避難訓練 09：02～10：00
 - 現地対策本部設置・運営訓練 09：00～12：00
 - 災害ボランティアセンター設置・運用訓練 10：00～12：00
 - 避難所開設・運営訓練等 10：00～12：00
- 主催：内閣府、志布志市
- 参加者数：約1,800名
- 参加機関：各地区町内（自治）会、自主防災組織、香月小学校、通山小学校、志布志高校、カトリック志布志幼稚園、志布志海上保安署、志布志港湾事務所、県大隅地域振興局、志布志警察署、志布志消防署、消防団、志布志市社会福祉協議会、その他防災関係機関等

当日の訓練内容

09:00～10:00 シェイクアウト～津波避難訓練

志布志市全地域を対象に自らの命は自ら守るという「自助」の取組に重点を置いたシェイクアウト訓練を行うとともに、志布志湾沿岸部の住民や幼稚園、小学校、高校等が、各々の津波避難場所までの避難訓練を行い、避難要領や避難完了までの所要時間等を確認した。

▼シェイクアウト訓練



▼津波避難訓練



09:00～12:00 現地災害対策本部設置・運営訓練

大規模な地震の発生に伴い、津波浸水想定地域外の志布志市文化会館に速やかに現地対策本部を開設し、参集した防災関係機関との連携のもとに、被害情報の収集や応急的な災害対策活動を行い、連携体制の強化を図った。

▼参集した防災関係機関



▼現地対策本部会議



10:00～12:00 災害ボランティアセンター設置・運用訓練

志布志市社会福祉協議会が中心となって、志布志高校の生徒等を対象に、災害ボランティアセンター設置・運用の具体的な流れについての講習を行うとともに、災害ボランティアの受付～マッチング～活動のための資材受領の流れなどについて実習した。

▼講習



▼実習



10:00～12:00 避難所開設・運営訓練

各町内会の避難所運営要員に対して、避難所の開設・運営の基本的事項に関する講習を行った後に、市職員及び消防団員等を避難者に見立て、受付、居住区への受入れ、物資の配給等の避難所運営とともに、避難所用品等の取扱要領について実習を。

▼講習



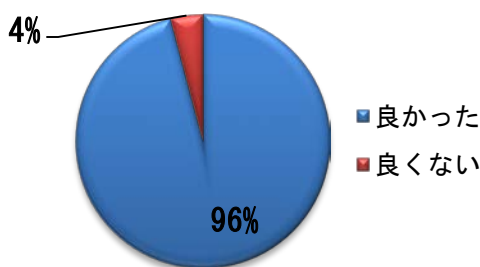
▼実習（避難者の受付）



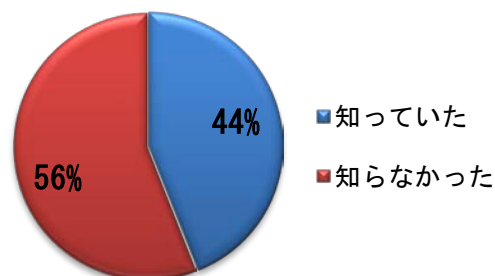
アンケート結果

住民の方々の防災意識や津波避難対策への取組状況等を把握するため、アンケート調査を実施した。（回答数：429名）

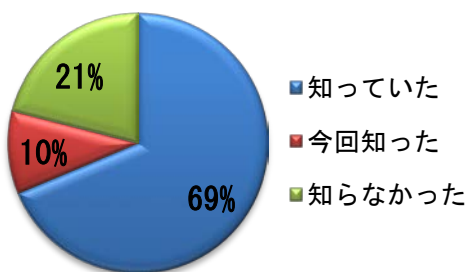
問 地震・津波防災訓練に参加してどう思いましたか？（回答数416人）



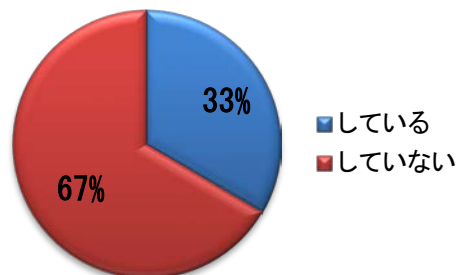
問 11月5日が「津波防災の日」であることを知っていますか？（回答数384人）



問 ご自宅からの津波避難経路を知っていますか？（回答数：377人）



問 地震等に備えて、非常用持出し袋等を準備していますか？（回答数：383人）



訓練の評価

訓練当日は、天候にも恵まれ、地域住民、幼稚園、小学校、高校、企業、市職員及び防災関係機関等、約1,800名が終始熱心かつ真剣な態度で訓練に取り組んだ。

訓練実施後、志布志市長、内閣府訓練担当者の挨拶、市職員等の所見、参加者のアンケート結果等を分析し、今後の防災対策や防災訓練の企画などの参考となるよう「課題」を整理した。

この結果、例年の防災訓練より、参加者が多く「防災意識を啓発できた」という評価の一方で、次のような課題が明らかになった。

- 避難対象者数に対して、避難スペースの狭い津波避難場所が見受けられた。
- 各々の津波避難場所及び指定避難所の周知が、やや不十分である。
- 平日の避難訓練は毎年行っているが、一方で、休日に家族が全員で避難訓練を行う機会が少ない。
- 避難訓練は毎年行っているが、津波災害に対する備えは必ずしも十分ではない。（アンケートでは、約56%の回答者が備えを行っていないと回答）